

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県魚沼市十日町2262

氏名 新和コンクリート工業株式会社 小出工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-792-2160

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新和コンクリート工業株式会社 小出工場
事業場の所在地	新潟県魚沼市十日町2262
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	窯業・土石製品製造業
②事業の規模	120,000万円
③従業員数	37名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・建設汚泥 自社で中間処理(脱水)→処理業者へ委託→造粒固化材として再資源化 ・ガラス、陶磁器くず 処理業者へ委託→再生砕石として再資源化 ・木くず 処理業者へ委託→破碎、木材チップとして再資源化 ・可燃混合物 処理業者へ委託→破碎、焼却 ・廃プラ 処理業者へ委託→再生原料 ・廃油 処理業者へ委託→焼却



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任 組織名 上中越事業部 取締役常務
 廃棄物担当 組織名 小出工場 組織人数 3名

役割 廃棄物処理統括責任者 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
 廃棄物担当工場長 廃棄物処理計画の作成
 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
 廃棄物処理施設の運転、維持管理状況の把握
 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
 委託契約の締結
 産業廃棄物管理表の交付・管理
 監督官庁への各種報告
 従業員に対する教育・啓発
 その他事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器クズ	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	排出量	278.94 t	1,358.25 t	1.20 t	0.00 t	0.09 t	0.73 t		
	産業廃棄物の種類								
	排出量								

(これまでに実施した取組)

納入打合せを行い返品製品及び戻りコンクリートの減量に努める。

【目標】

②計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器クズ	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	排出量	250.00 t	1,550.00 t	5.00 t	1.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類								
	排出量								

(今後実施する予定の計画)

受注製造としてデッドストック品の減量、生コンは納入数量打合せの強化による戻りコンクリートの減量、これにともなうガラス・陶磁器クズ及び建設汚泥の減量。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	建設汚泥は専用置場に保管、ガラス陶磁器クズは専用置場及び6㎡コンテナ1台に保管。 木くずは専用3.5㎡コンテナに保管。 可燃混合物・廃プラスチックは、それぞれ1tバックに保管。 廃油は専用タンク(ドラム)に保管。
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	現状どおり分別して保管。
②計画		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器くず	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器くず	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の計画)									
特に実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器くず	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量									
(これまでに実施した取組)									
汚泥は脱水後保管。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器くず	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量								
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量								
	産業廃棄物の種類								
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量									
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量									
(今後実施する予定の計画)									
特に実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器類	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	1	1	1	1	1	1	1	1
	産業廃棄物の種類								
② 計画	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器類	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	1	1	1	1	1	1	1	1
	産業廃棄物の種類								
（今後実施する予定の計画）									
実施していない。									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器類	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	全処理委託量	278.94	1,358.25	1.20	0.00	0.09	0.73		
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量	278.94	1,358.25	1.20	0.00	0.09	0.73		
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
認定熱回収業者への処理委託料									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
（これまでに実施した取組）									
産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。									

① 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	ガラス・陶磁器類	木くず	可燃混合	廃油	廃プラ		
	全処理委託量	250.00	1,550.00	5.00	1.00	0.00	0.00		
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量	250.00	1,550.00	5.00	1.00	0.00	0.00		
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	(今後実施する予定の取組)								
	<p>再生可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理委託を行う。 委託先処理業者は、定期的に現地確認を実施する。</p>								
※事務処理欄									